

目次

I 会社の概要と有料道路コンセッション事業 04

- 1 会社の概要 04
- 2 有料道路コンセッション事業 05

II 営業路線紹介 09

- 1 知多半島道路 09
- 2 南知多道路 11
- 3 知多横断道路 13
- 4 中部国際空港連絡道路 15
- 5 衣浦トンネル 17
- 6 猿投グリーンロード 19
- 7 衣浦豊田道路 21
- 8 名古屋瀬戸道路 23
- 9 三ヶ根山スカイライン 25

III 無料開放等路線紹介 27

- 1 多米峠有料道路 27
- 2 本坂トンネル 28
- 3 茶臼山高原道路 29
- 4 尾張パークウェイ 30
- 5 音羽蒲郡有料道路 31
- 6 新豊田駅駐車場 32
- 7 小坂井バイパス 33
- 8 小牧東インター有料道路 34
- 9 三河湾スカイライン 35
- 10 本宮山スカイライン 36
- 11 鳳来寺山パークウェイ 37
- 12 鳳来寺山パークウェイ駐車場 37

IV 50年のあゆみ 38

V これから 56

- 1 新設パーキングエリアの整備 56
- 2 武豊北インターチェンジ(仮称)の整備 58
- 3 西知多有料道路事業 59

VI おわりに 61

愛知県道路公社設立50周年にあたって

愛知県道路公社は、有料道路の建設及び管理を総合的かつ効率的に行い、地域の幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、県民の福祉増進と産業経済の発展に寄与することを目的に設立して以来、50周年を迎えました。

これまで、多米峠有料道路始め21の道路及び施設の維持管理運営を行ってきました。現在は、全国初となる有料道路コンセッションにより、知多半島道路始め8路線については、施設を所有する管理者の立場となり、維持管理運営は民間の愛知道路コンセッション株式会社が行っています。

今、まさに、ここ愛知・名古屋では「リニア中央新幹線、産業首都、ジブリパーク」に象徴される、日本の未来をつくる取組が動き出し、大きく飛躍のときを迎えています。

愛知の経済・産業力を強化し、若者・女性・高齢者・障害者の雇用・活躍につながり、人づくりが進み、地域が元気になるという、愛知の今のいい流れ、好循環をさらに前進させるためには、その基軸となる社会基盤の整備・充実、とりわけ陸・海・空一体となった総合的な交通ネットワークの形成が重要です。

新東名・名神高速道路、東海環状自動車道を始めとした高規格幹線道路の整備が進むなか、現在、新たな滑走路を整備し機能強化を目指す中部国際空港とリニア中央新幹線の整備が進む名古屋駅との連携を強化するため、西知多道路の整備を進めており、2021年11月には、愛知県道路公社が一部を有料道路として事業を行うことにより、さらに整備を加速してまいります。

今後は、有料道路コンセッションの成功や西知多道路の整備など、愛知県道路公社の果たす役割は非常に重要となります。日本一元気な愛知をつくるため、地域の交通の円滑化や経済の発展を支える役割を果たせるよう全力で取り組んでまいります。

2022年5月